

# きちんと出されないごみ The garbage which is not taken out properly

ごみの収集、処理をしている現場の声を聞いてみました。



## 収集作業員 A

もえないごみの日なのに、もえるごみが出してあるところもあるんだよ。おかげで夏場になると臭いがきつくて困るね。「収集日の朝に出してください」とお願いしているのに…。

◀ 収集車にごみを入れる作業員



## 処理事業員 B

もえるごみの日に出されているごみのなかには、ペットボトルや新聞紙などのリサイクルできるはずのものが、たくさん入っているんだよ。きちんと分別すれば「資源」になるんだけどね…。もったいないですよ。

リサイクルできるものはリサイクル回収日に出してください▶



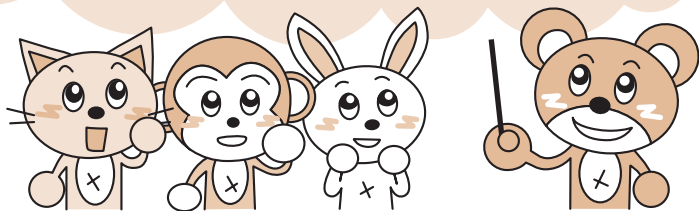
# もったいない

It is a waste = MOTTAINAI

食べにくい大きな魚の骨をよく焼き、ミキサー等で粉にして、乾燥させたみかんの皮とiriごまやのりを加えたらカルシウムたっぷりの健康ふりかけができます!



大根の葉の「つけもの」もすっごくおいしいから試してみてください!



イラストのように、少し目先を変えれば、生活の中でいろんな資源の有効利用ができるのです。まだまだ使えるものをただ捨ててしまうというのは、「もったいない」ですよ。

みなさんも「昔ながらの生活の知恵」をもう一度、新しい目線で見直してみませんか?

日本は、資源が少ない国です。かつての日本は、その少ない資源を有効に活用する生活を送っていました。もちろん、今とは生活習慣もかなり異なっているので、単純に比べることはできません。

しかし、今でも使える昔ながらの生活の知恵は、たくさんあります。大根の葉やみかんの皮など、そのまま「生ごみ」となってしまういませんか?

まだ数回しか袖を通していない服をもえるごみの日に出していませんか?

# 今、わたしたちにできること Have it on us now

「ごみを減らす」ということは「もったいないと思うこと」と共通しているのではないのでしょうか。

「リサイクルできるものはリサイクルする」「ものを大事に使う」「すぐに捨てない」など、わかってはいるけれども、実行することはなかなか難しいでしょう。しかし、誰かひとりだけががんばっていても効果はありません。みんなで取り組むことで、少しずつではあるけれども、やがて必ず大きな効果が現れます。

子どもたちが大人になったとき、ごみであふれかえった住みにくいまちにならないように、今、わたしたちにできることを考え、取り組んでみませんか?

問北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748